

## 英語のポスターを作ろう

～中道は英語ができないのでGemini先生に聞いてみました～

### 1. 「名詞句」を効果的に使う (見出し・タイトル)

日本語のタイトルは「～に関する研究」や「～の調査」となりがちですが、英語では簡潔でインパクトのある表現が好まれます。

直訳気味 : A Study about the Water Quality of the River A.

洗練された表現 : Water Quality Analysis of River A (A川の水質分析)

コツ : 前置詞 (of や about) を減らし、重要な単語を並べるとポスターらしくなります。

### 2. 文章を短く切り、箇条書きを活用する

ポスターは「読むもの」ではなく「見るもの」です。日本語は一文が長くなりがちですが、英語では SVO (誰が・何を・した) を明確にし、短く切りましょう。

日本語だと : 「～という結果が得られたので、～だと考えられる。」

英語のコツ : 文章を2つに分けます。

Results show that... (結果は～を示している)

This suggests that... (これは～を示唆している)

箇条書き : ①学術ポスターでは、主語 (I, We, This study など) をしてもかまいません。これにより、スペースを節約し、アクションを強調できます。

Before: We measured the temperature every 10 minutes.

After: Measured temperature every 10 minutes.

Before: This result suggests that the protein is stable.

After: Suggests protein stability.

②意味が通じる範囲で、冠詞を省略し「名詞句」にすると引き締まった印象になります。

Before: The increase in the pressure was observed.

After: Observed pressure increase.

Before: A significant difference between the two groups.

After: Significant difference between groups.

③理由や手順は「\*」や「・」を使って並べ (下の例は3つの項目を「・」で並べた)、文体も統一すると、見やすくなります。

× 良くない例 (形がバラバラ)

・ Collecting data

・ Analyze the samples

・ We found a new result

○ 良い例 (動詞の過去形で統一)

・ Collected data

・ Analyzed samples

・ Identified new results

④箇条書きは「1行以内」に収めるのが理想です。2行に渡ってしまう場合は、言葉を削るか、2つの項目に分けられないか検討してみてください。

### 3. 動詞の「時制」を使い分ける

科学英語には、セクションごとに決まった時制のルールがあります。ここを間違えると、研究の信頼性に影響することがあります。

セクション	推奨される時制	理由
Abstract (要約)	現在形	一般的な事実や先行研究を述べるため
Introduction (背景)	現在形	一般的な事実や先行研究を述べるため
Methods (方法)	過去形	すでに行った実験手順を説明するため
Results (結果)	過去形	得られたデータは過去の事実であるため
Discussion (考察)	現在形	その結果から何がいえるか (結論) を述べるため
Conclusions (結論)	現在形	その結果から何がいえるか (結論) を述べるため

※考察や結論で研究結果を振り返る場合は、過去形を使います。

過去のリサーチ結果や研究結果をまとめる場合は、現在完了形です。

今までの研究の結果を今回の研究と比較する際にも、現在完了形でまとめましょう。

### 4. 一人称 (We/I) vs 三人称 (It/This study)

最近の英語論文では、自分の行動を明確にするために "We" を使うことも増えていますが、高校生のポスター発表では以下の使い分けを基本にするとスッキリします。

【基本の考え方】

背景 (三人称) Previous studies have shown that... 先行研究は～であることを示している。

目的 (三人称) The purpose of this study is to... 本研究の目的は～である。

(This study / The results: 「研究そのもの」や「データ」を主語→客観性を持たせる)

主張 (一人称) We propose a new method for... 我々は～のための新しい手法を提案する。

(We: 自分たちが何をしたか) という主体的なアクションを強調する)

セクション	おすすめの主語	具体的な文例
Introduction	We / This study	We focused on the impact of... (私たちは～に焦点を当てた)
Methods	We	We measured the temperature every hour. (1時間ごとに温度を測定した)
Results	The results / Figure 1	The results shows that...や Figure 1 shows that... (図1は～を示している)
Conclusion	We / This study	We conclude that sugar affects... (私たちは～だと結論づける)

## 5. 能動態 (Active) と 受動態 (Passive)

「受動態 (～された)の方が科学っぽい」と思われがちですが、使いすぎると文が長くなり、誰が何をしたのか不明確になります。

使い分けのルール

能動態 : 手順をキビキビと説明したいとき。

受動態 : 「誰がやったか」よりも「何をされたか (対象物)」が重要なとき。

【Methods (実験方法) の場合】「誰が」やったかは自明 (生徒たち) なので、「何がどうされたか」に焦点を当てます。

能動態: We mixed two solutions.

(私たちは2つの溶液を混ぜた) → 短くて読みやすい。

受動態: Two solutions were mixed.

(2つの溶液が混合された) → 「溶液」に注目させたい場合に有効。

※一般的には「受動態」通いと言われているが、あえて「能動態」を用いて強調する場合もある。

【Results (結果) の場合】データや図を主語にして、「何が何を引き起こしたか」を力強く書きます。

能動態: The data suggests a strong correlation.

(データは強い相関を示唆している) → 自然で力強い表現。

受動態: A strong correlation was observed.

(強い相関が観察された) → 実験結果の客観性を強調する定番フレーズ。

※自信があるときは「能動態」で!

## 6. 専門用語 (Keywords) を正しく選ぶ

Google 翻訳や DeepL を使う際、一般的な単語に訳されてしまうことがあります。

注意点 : 自分の研究分野の論文 (英語) をいくつか探し、そこで使われている単語をそのまま使いまししょう。

例: 「ばらつき」を訳すとき、一般的な variation なのか、統計的な standard deviation (標準偏差) なのかで意味が大きく変わります。

# Geminiを活用して英語ポスターを作るための5つのコツ

### 1. 「役割」を与えて翻訳させる

単に「翻訳して」と言うのではなく、Gemini に背景を伝えると、ポスターらしい簡潔な表現になります。

効果的な指示 (プロンプト) の例: 「あなたは理系の英語論文の専門家です。高校生の課題研究ポスターのために、次の日本語を短く、専門的な響きのする英語に翻訳してください。ポスターなので、一文を短くし、箇条書きを多用してください。」

### 2. 「見出し」と「本文」を分けて出力させる

ポスターは「パッと見てわかる」ことが重要です。Gemini に、タイトルや見出しをいくつか提案させ、そこから選ぶのが賢い使い方です。

見出しの相談例: 「『○○が××に与える影響の調査』というタイトルを、ポスターで目を引くような、短くてカッコいい英語のタイトルにしてください。3案出してください。」

ポイント: タイトルには A vs B (A と B の比較) や、名詞だけで構成された短いフレーズを選ぶのがコツです。

### 3. 「時制」のミス Gemini にチェックさせる

英語のポスターでは、セクションごとに時制を使い分けるルール (背景は現在形、実験は過去形など) があります。翻訳してもらった後に、以下の確認をしてみましょう。

時制チェックの指示: 「この英文の Methods (実験方法) のセクションは、すべて過去形になっていますか? また、Introduction (背景) は現在形になっていますか? 確認して修正してください。」

### 4. 専門用語が正しいか「逆翻訳」で確認する

Gemini が提案した英単語が、自分の研究分野で本当に使われているか不安なときは、逆質問をしてみましょう。

質問例: 「この文の中で使われている『Specific term (特定の英単語)』は、○○学 (物理・生物など) の分野で一般的に使われる専門用語ですか? もしもっと適切な単語があれば教えてください。」

### 5. 「ポスターの構成」そのものを相談する

英語は日本語よりも「結論を先に書く」文化が強いです。文章の並べ替えも Gemini に手伝ってもらいましょう。

構成の相談例: 「この Conclusion (結論) の日本語を英訳する前に、英語圏の人が理解しやすいように論理構成を整えてください。結論を最初に持ってきたほうがいいですか?」

### 【Geminiを使う時の注意点 (ここが重要!)】

文字数の調整: Gemini が作った英文が長すぎてポスターに入りきらないときは、「今の英文を、意味を変えずに 20%短くして」と頼んでみてください。

図表との連動: 「Figure 1 shows... (図1は～を示している)」のように、図を指し示す表現を忘れずに入れるよう指示しましょう。